



ふかしんメッセージ³⁵ — 校長から香住のみなさんへ —

令和6年1月22日（月）

「清々しい^{かお}表情」

3年生は「令和6年度 大学入学共通テスト」の自己採点結果によるデータも出揃い、今日から受験校を確定するための三者面談が始まります。前回の「ふかしんメッセージ」でも述べたように、ここから後期試験がある3月中旬までの約2ヶ月間が、大学受験の本当の勝負の時ということになります。この約2ヶ月間を最後の最後までどんな気持ちで、どう取り組んでいくかで、この後の大学生活、ひいてはこれからのみなさんの生き方に大きな影響を与えても決して言い過ぎにはならないと思っています。

「大学入学共通テスト」で思うような結果が出ていない人もいるかもしれません。私にも経験があるだけに、そんな人の精神的なきつきは痛いほどわかるつもりです。そんな時には、どうしても目先のことに捕らわれがちであり、第一志望校のことなど関係なく、どこか入れる（合格できる）ところを探して、何とか4月からの進学先を見つけようというメンタリティに陥りがちです。でも、ちょっと待ってください！ 「受験」において一番大切なことは、どこか進学先を決めるということではなく、「受験」に向けた取組において一切の悔いを残さないことなのではないでしょうか！ 自分が「受験」に向けて「やるだけのことはやってきた。全力を尽くしてきたので後悔は全くない！」そう思えたら、たとえ第一志望校でなくても、胸を張って合格した大学に進学するべきだと思います。そんな人の大学生活は、どこの大学であっても充実した素晴らしい大学生活になり、その後の人生もきっと前向きに進んでいけるはずで、それとは逆に、大学入試の結果に納得できていないまま、あるいは受験生活（受験勉強の取組）に悔いを残したまま、浪人することを避けてどこか合格した大学に進学するというのは非常に危険だと思います。

かつての私の教え子（真面目でよく努力し成績も優秀で、周りからのアドバイスにも耳を傾ける素直な生徒でした。）が、自分自身は1年浪人してでも第一志望の大学に進学したい気持ちであったにもかかわらず、保護者や親戚の人たちからの「合格した第二志望の大学もとってもいい大学だから、浪人せずにその大学に進学した方がいいよ。」という声を聴き入れてしまい、第二志望の大学に進学した

結果、進学後も自分自身がどうしても納得がいかず、悶々とした日々をすごしたということがありました。幸いこの生徒さんは、3年生になった時に自分が打ち込める目標を見出し、それからは充実した学生生活を送って海外で活躍するようになっただことは結果的には良かったものの、もし、そのまま悶々とした日々をすごして大学を卒業していたなら、貴重な大学4年間を台無しにしてしまい、その後の人生にも好ましくない大きな影響を与えていたかもしれません。

3年生のみなさんは、決して目先のことに捉われることなく、保護者や先生の見解はしっかりと受け止めながらも、最終的には虚心坦懐に自分自身と向き合い、自分自身の頭で考えて結論を出すことが必要です。あなたの人生は、保護者のものでもなく、ましてや教員のものでもなく、あなた自身の人生なのですから。最後は、決して自分をごまかしたり、妥協したりすることなく、誰でもない自分自身が心から納得できる結論を出してください。

先週、総合型選抜で大学を受験する女子の生徒さん2名と面接試験の練習を行いました。一人は、話すべき内容・実績については素晴らしいものを十分に持っているが、最初に練習した時には緊張で硬くなりすぎてしまい、持っているものを十分に表現できない状態でした。正直、私も「このままでは心配だ!」と思ったほどでした。そこで、2回目まで二人で色々とディスカッションを繰り返して、彼女もアドバイスを素直に受け止め、熱心にメモして、回を追うごとにグングンいい感じになっていきました。そして、本番を想定した試験前日の3回目の練習では、「自分の言葉」で気持ちを込めて語る、彼女らしさが十分に表現された素晴らしいものにしてくれたのです。3回の練習を一緒にやってきた私は、心から嬉しくなってその姿に感動し、これなら面接試験本番も心配ない!と確信することができるほどでした。

もう一人の生徒さんは、面接試験前日の1回だけの仕上げの面接練習でしたが、彼女も十分に語るべき内容を持っていましたので、限られた時間の中でディスカッションを行い、話す内容の表現や構成について更に磨きをかけることにしました。彼女は、午後から試験会場の下見に行く予定にしていたため、下見に行く前にディスカッションとアドバイスをを行い、彼女には「もしまだ聞きたいことや、納得いかなかないことがあったら、私は19時くらいまでは学校にいるからまたいらっしゃい。」と言って下見に送り出しました。彼女は18時前に再び校長室にやってきました。下見に行く前に指摘していたことをしっかり調べ、それをもとに更にディスカッションとアドバイスをを行い、それを彼

女がみるみる自分のものにしていく様子が手に取るようにわかりました。

そして今日。この2人は午前中にそれぞれ面接試験の結果について報告に来てくれました。報告を聞くまでもなく、彼女たちの表情をただで、二人とも面接試験を悔いなくやり切ってくれたことがよくわかりました。二人の表情は、それができた人だけが見せる実に爽やかで清々しいものであったからです。「結果」は、悔いを残さぬように一生懸命やり抜いた後に自ずとついてくるものです。3年生のみなさん全員が、この二人のような表情でこの受験生活を仕上げてくれることを心から願っています。

インフルエンザや新型コロナがまた流行り出しています。前回は述べたことの繰り返しになりますが、うがい・手洗いを徹底し、十分な睡眠と三度の食事をしっかり摂って、感染防止に万全を期してください。受験生にとって何よりも一番大事なことは、「心と身体の健康」であることを決して忘れないでください。

校長 深瀬 信也